

NY マーケットレポート (2019年10月30日)

2019年10月30日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	22843.12	-131.01	14.13%
ハンセン指数	26667.71	-163.49	3.18%
上海総合	2939.32	-14.86	17.86%
韓国総合	2080.27	-12.42	1.92%
豪ASX200	6689.48	-55.94	18.47%
シンガポールST	3207.92	+10.88	4.53%
インドSENSEX	40051.87	+220.03	11.04%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	108.84	109.28	108.72
EUR/JPY	121.34	121.36	120.88
GBP/JPY	140.43	140.50	139.97
AUD/JPY	75.08	75.11	74.54
EUR/USD	1.1148	1.1152	1.1080
BRL/JPY	27.142	27.230	26.927
RUB/JPY	1.693	1.700	1.690

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7330.78	+24.52	8.96%
仏CAC40	5765.87	+25.73	21.88%
独DAX	12910.23	-29.39	22.27%
スペインIBX35	9284.50	-115.60	8.72%
イタリアFTSE MIB	22646.08	-34.66	23.59%
トルコ・イスタンブール100	98692.03	-1146.27	8.13%
ロシアRTS	1431.90	+7.85	33.98%
南ア全株指数	55872.60	+155.91	5.95%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1496.70	+6.00	16.81%
NY 原油	55.06	-0.48	21.25%
CBOTコーン	390.75	+4.25	4.20%
CRB指数	178.312	-0.063	5.01%
ドル指数先物	97.255	-0.214	1.13%
VIX指数	12.33	-0.87	-51.49%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	27186.69	+115.27	16.54%
S&P500	3046.77	+9.88	21.54%
NASDAQ	8303.98	+27.12	25.15%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16501.43	+83.29	15.21%
メキシコ・ボルサ指数	43741.62	-109.44	5.05%
ブラジル・ボベスパ指数	108407.54	+851.28	23.35%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	9240	9525
Ripple (BSTP)	0.296	0.301
Ethereum (BSTP)	183.00	191.44
Bitcoin Cash	288.89	287.47

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.214%	-0.200%
5年債	-0.239%	-0.228%
10年債	-0.109%	-0.102%
30年債	0.416%	0.432%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	-0.354%	-0.351%
英国 10年債	0.686%	0.711%
フランス 10年債	-0.060%	-0.050%
米国債利回り		
2年債	1.598%	1.642%
3年債	1.595%	1.649%
5年債	1.606%	1.662%
7年債	1.684%	1.746%
10年債	1.772%	1.838%
30年債	2.252%	2.335%

*一部暫定値

10/31 経済指標スケジュール

- 08:50 【日本】9月鉱工業生産
- 09:01 【英国】10月GfK消費者信頼感調査
- 09:30 【オーストラリア】9月住宅建設許可件数
- 09:30 【オーストラリア】3Q輸出物価指数
- 10:00 【中国】10月製造業PMI・非製造業PMI
- 12:00 【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
- 12:00 【日本】10月経済・物価情勢の展望[展望レポート](時間不確定)
- 14:00 【日本】9月住宅着工戸数・9月建設工事受注
- 14:00 【日本】10月消費者態度指数
- 16:00 【ドイツ】9月小売売上高
- 16:00 【トルコ】9月貿易収支
- 16:45 【フランス】10月消費者物価指数
- 19:00 【欧州】3Q GDP
- 19:00 【欧州】9月失業率
- 19:00 【欧州】10月消費者物価指数
- 20:30 【米国】10月チャレンジャー人員削減数
- 21:00 【南アフリカ】9月貿易収支
- 21:30 【米国】9月個人所得・9月個人支出
- 21:30 【米国】3Q雇用コスト指数
- 21:30 【米国】9月PCEデフレター
- 21:30 【米国】新規失業保険申請件数・失業保険継続受給者数
- 21:30 【カナダ】8月GDP
- 21:30 【カナダ】9月原料価格指数・9月鉱工業製品価格
- 22:45 【米国】10月シカゴ購買部協会景気指数

10/31 主要会議・講演・その他予定

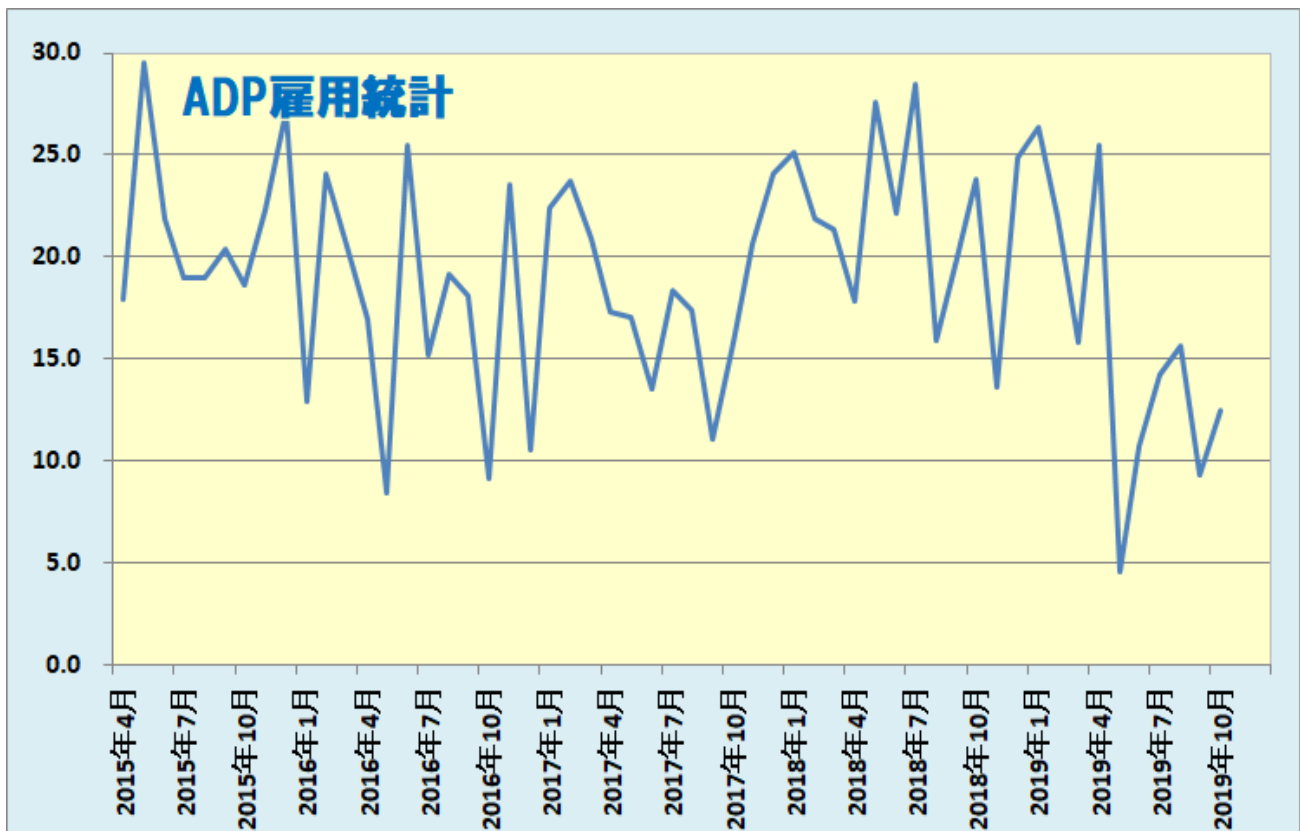
- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・ドラギECB総裁退任
- ・ユンケル欧州委員会委員長退任

NY 市場レポート

主要な米経済指標の結果

10月 ADP 雇用統計 12.5 万人（予想 11.0 万人・前回 13.5 万人⇒9.3 万人）

10月の ADP 雇用統計では、雇用者数の伸びが市場予想を上回った一方、前回結果が下方修正され、実質の伸びが小幅にとどまった。財生産部門の雇用者数は-1.3 万人となり、鉱業と建設業、製造業でマイナス、サービス業は 13.8 万人となった。

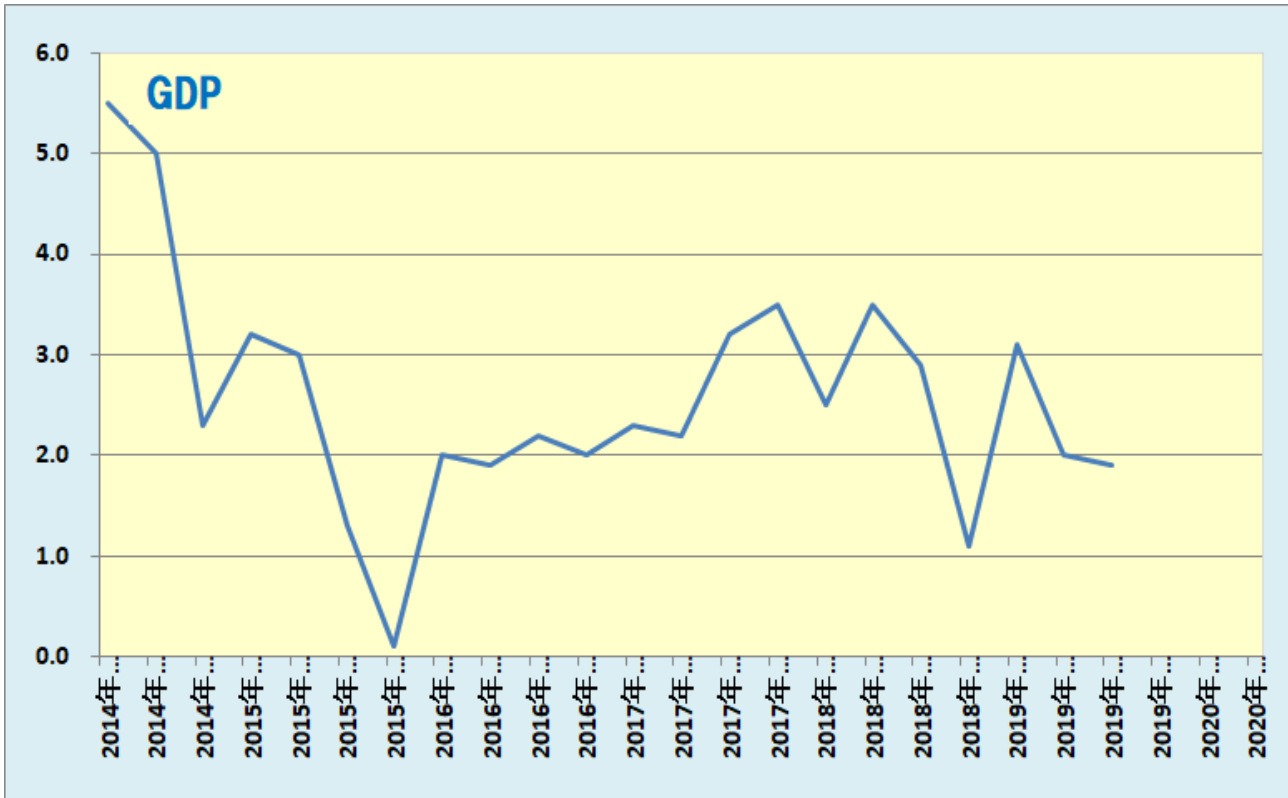


データを基に SBILM が作成

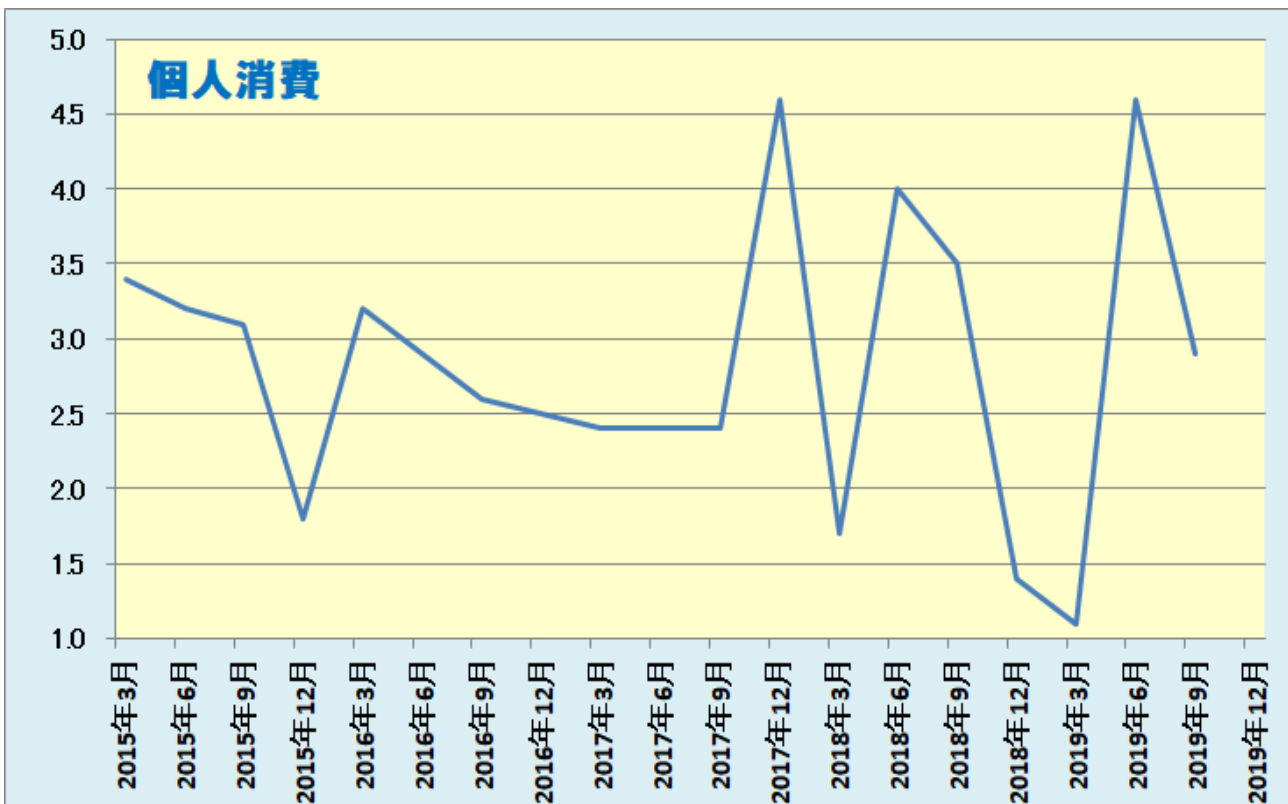
3Q GDP (前期比年率) 1.9% (予想 1.6%・前回 2.0%)

3Q 個人消費 (前期比) 2.9% (予想 2.6%・前回 4.6%)

7-9 月期の米 GDP 速報値は、前期からやや減速したものの、市場予想ほど減速しなかった。GDP の約 7 割を占める個人消費が+2.9% (前期+4.6%) となり、耐久財が+7.6% (+13.0%)、非耐久財が+4.4% (+6.5%)。サービスは+1.7% (+2.8%)、住宅投資は+5.1% (-3.0%)、また設備投資が-3.0% (-1.0%) と 2 四半期連続のマイナスとなった。



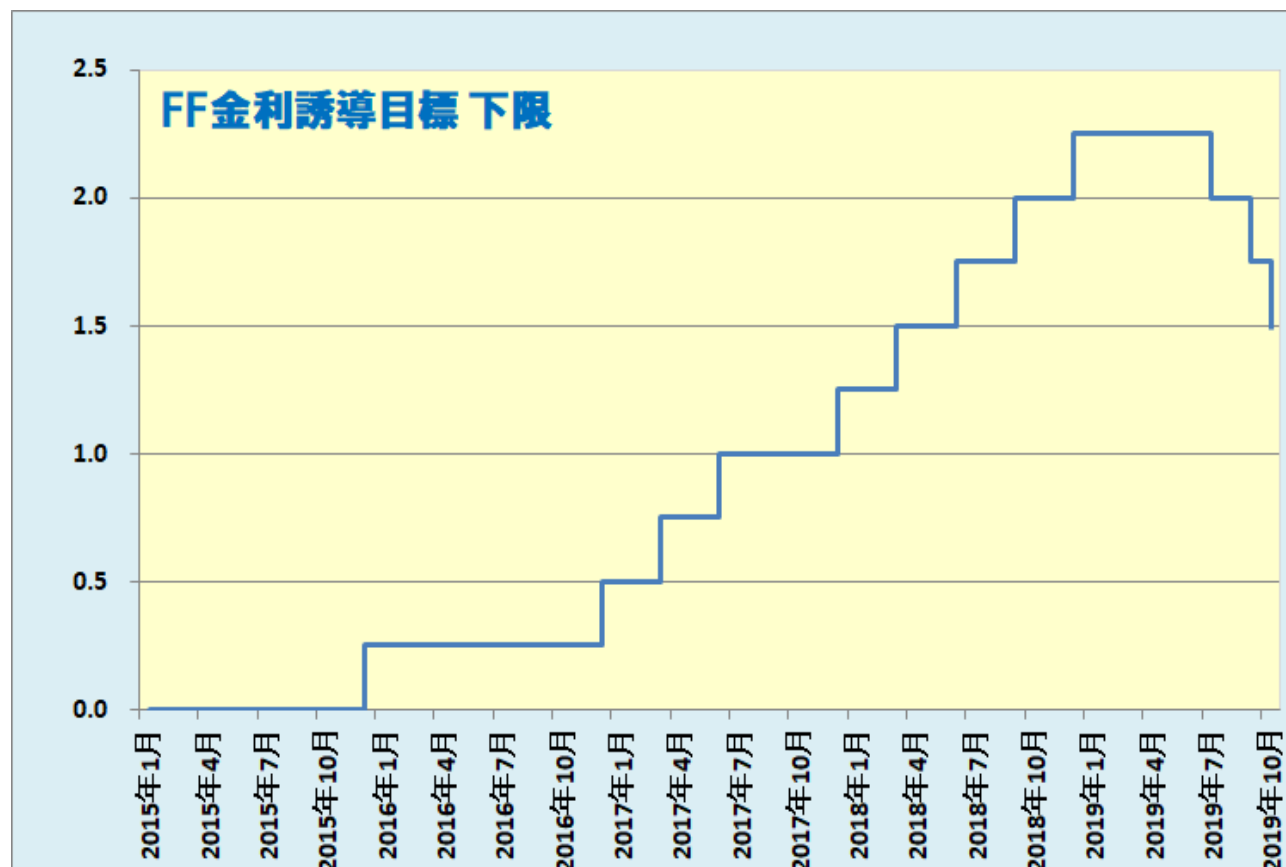
データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

FOMC FF 金利誘導目標 1.50%-1.75% (予想 1.50%-1.75%・前回 1.75%-2.00%)

米FRBはFOMCで、政策金利となるFF金利の誘導目標を0.25%引き下げ、1.50%-1.75%とすることを決定した。7月、9月の会合に続いて3回会合連続の利下げ決定となった。



データを基に SBILM が作成

FOMC の主な声明

- ・ 経済見通しに対する世界動向の影響や弱いインフレ圧力を考慮し、FF金利の目標誘導レンジを1.50-1.75%に引き下げること決定した。
- ・ 労働市場が力強く推移し、経済活動が緩やかなペースで拡大している。
- ・ ここ数カ月、雇用の伸びは概して堅調で、失業率は低いままだった。
- ・ 家計支出は力強いペースで増加したが、企業の設備投資と輸出は弱いままだった。
- ・ 長期的なインフレ期待の指標はあまり変わっていない。
- ・ 経済の見通しを引き続き注意深く監視する。
- ・ 政策決定で反対投票をしたのはエスター・ジョージ氏とエリック・ローゼングレン氏、ともにFF金利の目標誘導レンジの据え置きを支持した。

米主要株価指数は反発、S&P500 は終値ベースで最高値を更新

米株式市場は、主要株価指数は序盤から上値の重い動きが続いていたが、FOMCで政策金利の引き下げが決定されたことが好感されて買い優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から上値の重い動きとなり、一時前日比71ドル安まで下落した。FOMC後は上昇が続き、115ドル高で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは27ポイント高で終了し、S&P500は9ポイント高となり、終値ベースで最高値を更新した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	ヘルスケア	1.51%	1	J&J	2.88%
2	通信サービス	1.05%	2	マクドナルド	2.22%
3	消費財	1.04%	3	メルク	1.32%
4	消費者サービス	0.96%	4	ユナイテッドT	1.30%
5	テクノロジー	0.60%	5	マイクロソフト	1.25%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は一時 109.28 まで上昇してもドル高が続かず

NY 市場では、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強く、ドル/円は序盤から小動きの展開となった。序盤に発表された ADP 雇用統計が市場予想を上回ったものの、前回結果が下方修正されたことで実質の伸びが小幅にとどまったことや、FOMC を控えていたことで、第 3 四半期の米 GDP が市場予想を上回ったにも関わらず、市場の反応は限定的だった。FOMC では、予想通りに FF 金利の誘導目標が引き下げられたものの、「成長を維持するために適切に行動をとる」との文言が削除されたことから、追加利下げの可能性が後退したほか、パウエル FRB 議長が会見で金融政策は現行スタンスが適切と発言したことも影響し、長期金利が上昇。それに伴い、ドル円も 8/1 以来となる 109.28 まで反発した。しかし、「利上げには著しいインフレが必要」とのパウエル FRB 議長の発言を受けて米 10 年債利回りが 1.824% から 1.769% まで低下し、ドル/円も 108.72 まで下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。